

## 第二学年〇組 音楽科学習指導案

**題 材** 音色とリズムをたのしもう 「ゆかいな時計」「森のたんけんたい」

### 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、音楽に合わせて体を動かしたり、拍を意識して簡単なリズムを手拍子で表現したりすることができるようになってきている。しかし、様子を表すために打楽器を選択し、音色に気を付けて表現したり、打楽器の音を合わせて表現したりした経験は十分ではない。そこで、拍を感じ取り、友達と協働して音楽をつくり表現の楽しさを感じ取ることができるようになるこの期に本題材を取り上げる。そして、楽しく森へ探検に向かい、動物や妖精の楽しい感じという曲想と打楽器の音色やリズムの関わりを感じ取って、楽器の音色の特徴に気付くとともに、リズム譜を見て楽器を演奏する技能を身に付けることができるようにする。このことは、曲想と音楽を形づくっている要素との関わりを考えながら豊かに表現をする子供を育てる上からも意義深い。
- 本題材では、楽しく森を探検している軽快な感じや、動物たちが家を作ったり、会話をしたり遊んだりする感じと打楽器の音色やリズムの関わりに気付き、四分音符と八分音符、四分休符からなるリズムを友達と声や打楽器の音を合わせて表したい感じを表現することができるようにする。このことは、本学級の子供たちにとって、様々な打楽器の音色やリズムの面白さを感じ、拍を意識して歌ったり打楽器の音色に気を付けて演奏したりすることを通して、動物たちの感じを友達と表現する楽しさを味わうことに適した題材である。
- 本題材の指導に当たっては、曲想と音色とリズムの関わりに気付き、表したい動物たちの感じに合わせて打楽器の音色に気を付けて音を合わせて表現することができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、題材導入時の打楽器の音色を確かめる動画を見て打楽器を使って表したいという思いをもつことができるようにする。次に、展開段階では、歌詞や表したい感じに合う打楽器の音色について話し合い、表現することができるようにする。最後に、終末段階では、打楽器の音色に気を付けて動物たちの感じを表現することができるようにする。

### 目標

- 1 楽しく森へ探検に向かい、動物や妖精の楽しい感じと打楽器の音色や軽快なリズムとの関わりに気付き、動物や妖精の感じに合わせて打楽器を選択し、音色に気を付けて表現する技能を身に付けることができるようにする。
- 2 体を動かしたり歌詞に注目したりしながら音楽を聴くことを通して、打楽器の音色やリズム、歌詞から動物や妖精の感じを想像して、どのような動物や妖精の感じを表したいかという思いをもつことができるようにする。
- 3 動物たちの感じを拍を意識していろいろな打楽器の音色やリズムで表現することに関心を持ち、表したい動物たちの感じに合わせて音色に気を付けて歌唱や演奏に取り組み、互いの音や声を聞いて表現する態度を育てる。

### 計画（5時間）

- 1 身の回りの音や身近な打楽器の音やその特徴を言葉で表させ、音色の面白さを感じ取らせる。————— 1
- 2 時計や動物たちの様子を考えさせ、動物たちの様子を工夫して表現させる。————— 3
  - (1) 「ゆかいな時計」を打楽器の音色と様子を結びつけて鑑賞させ、音色の面白さを感じ取らせる。---①
  - (2) 「森のたんけんたい」の動物たちの様子を想像させ、手でリズムを打って歌わせる。-----①
  - (3) 表したい動物の様子を想像させ、打楽器を選択し音色に気を付けて表現させる。-----①本時
- 3 表したい動物たちの様子を音を合わせて表現させ、鑑賞させる。————— 1

**本時** 令和6年6月14日（金曜日） 第5校時 音楽室において

- 主眼** 1 きつつきが家を作る感じやたぬきがお腹を叩いて楽しく話す感じ、妖精が魔法を使って楽しむ感じを表すために、歌詞や表したい感じにぴったり合うように打楽器の音色に気を付けて演奏することができるようにする。
- 2 学習者用端末上の楽譜で打楽器カードを操作し、選択した打楽器を用いて録音したり互いに聴き合ったりしながら表す活動を通して、音色に気を付けて表現することのよさを友達と話し合うことができるようにする。

**準備** 学習者用端末、カスタネット、クラベス、ウッドブロック、タンブリン、すず、トライアングル、ボンゴ

過程

段階	学習活動と予想される反応	具体的な支援 ※ICT活用
導入	<p>1 前時までの手拍子を合わせた表現を想起し、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>①手拍子を合わせた歌を歌う。 ②打楽器の音色を確かめている動画を見る。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>打楽器を使って演奏すると表したい動物や妖精の感じをもっと表すことができそう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>だがつきをつかって、どうぶつたちのたのしいかんじをあらわそう。</p> </div>	<p>○友達と打楽器を使って森の動物の様子をもっと表したいという思いをもつことができるように、題材導入時で行った、打楽器の音色を確かめた動画を提示する。</p>
展開	<p>2 声や手拍子、打楽器の音で表し、表したい森の動物や妖精の感じが表れるように打楽器の音色を工夫して表現する。</p> <p>(1) 様々な打楽器を演奏したことを振り返り、歌詞や動物の感じに合わせて打楽器を選ぶという表現の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><b>【打楽器カード】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人が一つの打楽器を使う</li> <li>・歌詞と表したい感じに合うように</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>森の動物や妖精の感じをよく想像して、打楽器を変えていくとよさそうだな。</p> </div> <p>(2) グループで表したい動物たちの様子に合うように打楽器を選ぶことについて話し合い、動物たちの様子を表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>親子のきつつきがくちばしで木をコンコンとつついているから、それにぴったり合う、コンコンと聴こえるカスタネットとクラベスを使って表してみたいな。</p> </div> <p>(3) 全体でグループの打楽器を用いた表現を聴き、感じたことを話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【きつつきがくちばしで家をつくっている様子】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【たぬきの親子がおしゃべりしている様子】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【妖精が魔法を使っている様子】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>クラベスの音色できつつきが木の幹をくちばしでつついて家をつくっている感じがした。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>タンブリンのパンパンという音色でたぬきの親子が楽しそうに会話をしている感じがしたよ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>カスタネットよりトライアングルの音色のほうが妖精たちが魔法を楽しく使っている感じがするね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>だがつきの音色にきをつけてえんそうすると、どうぶつたちのたのしいかんじをもっとあらわせる。</p> </div>	<p>○表現の見通しをもつことができるように、学習者用端末に保存しているこれまでに演奏したことのある打楽器の音色の録音を聴いたり、打楽器の音を出して試したりする時間を設定する。</p> <p>○表したい感じに合う表現を見いだすことができるように、学習者用端末の楽譜で使用する打楽器を考えて試しに表す時間と、録音したり聴き合ったりして表したい感じが表れているかを話し合う時間を設定する。</p> <p>○歌詞にぴったり合う表現になっているかを感じ取ることができるように、打楽器の音色と表れている動物や妖精の感じといった視点で聴き合う場を設定する。</p> <p>○グループで使う打楽器を見直すことができるように、他のグループの打楽器の音色を参考に表現を見直す場を設定する。</p>
終末	<p>3 森の動物の様子を打楽器を用いて友達と表現して、本時学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>グループでつくった森の動物や妖精の様子の音楽を聴き合い、よさを伝え合い、全体を通して表現する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器の音色に気を付けて演奏すると動物や妖精の感じをもっと表せた。</li> <li>・次はもっとみんなの音をぴったり合わせて演奏したい。</li> </ul> </div>	<p>○全員で表現する楽しさを感じ取り、次時の音を合わせて表現したいという意欲を高めることができるように、伴奏に合わせて表現し、既習の音を合わせて表現したことを話し合う場を設定する。</p>

